

週間展望 (4/22～4/29)

～ WEEKLY FORECAST ～

NSトレーディング

菊川 弘之



PHOTO by KIKUKAWA

巻末に重要事項の記載があります。必ずご参照ください。

日産証券株式会社

目次 (2024/4/22号)

■ 目次	・・・ P 2
■ 週間予定：米GDP速報値、米PCE価格指数、日銀金融政策決定会合	・・・ P 3
■ 前週：イスラエル報復攻撃	・・・ P 4
■ ドル円：日米韓財務相会合で上値抑えられる	・・・ P 5
■ 金：短期的な買われ過ぎ感による調整に注意	・・・ P 6
■ 白金：心理低節目5000円が上値抵抗として機能	・・・ P 7
■ ゴム：内外共にダブルトップを形成中	・・・ P 8
■ 穀物：ラニーニャ現象へ転じるか否かが注目	・・・ P 9
■ 原油：イスラエルの報復の有無が焦点	・・・ P 10
■ 日経225：ネックライン割れで、ダブルトップ完成	・・・ P 11
□ 騰落率 (年間・月間・週間) 先物市場が織り込む利上げペース。中国GDP	・・・ P 12
□ ETF (金・白金)・EIA原油在庫	・・・ P 13
□ 作付け進捗率 (大豆・コーン) □ USDA週間輸出成約高 □ 米戦略備蓄・IEA需給見通し	・・・ P 14
□ CFTC建玉明細 (ドル円・ユーロドル・NY金・NY白金) (NY原油・NYガソリン・シカゴ大豆・シカゴコーン)	・・・ P 15～16

C X週間展望 (4月22日～)

【週間スケジュール(4月22～4月28日)】

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
31 日 日銀短観 中 財新製造業PMI 米 製造業PMI 米 ISM製造業PMI 欧州 祝日 (イースターマンデー) 米 ケンブリッジFRB理事発言 米 水曜逆行 (～4月25日)	1 独 工英 製造業PMI 独 消費者物価指数 米 JOLTS求人数 米 耐久財受注 米 ムレイヒムセントリス連銀総裁就任 米 ポワンスFRB理事発言 米 クワインJIMY連銀総裁発言 米 大統領予備選 (民・共：コネチカット州、アラバマ州、ニューヨーク州、ロードアイランド州、ウイシントン州) 中 貴州茅台酒 決算	2 中 財新総合サービスPMI 独 消費者物価指数 米 ADP雇用者数 米 サービス総合PMI 米 ISM非製造業PMI 米 ハウエルFRB議長発言 米 ポワンスFRB理事発言 米 グールズビーFRB理事発言 米 クラウFRB理事発言 米 合同探検監視委員会 (JMMC) 会合	3 独 英 サービス業PMI 米 貿易収支 米 クラウFRB理事発言 米 バーキンラッチモンド連銀総裁 米 スタークラーブランド連銀総裁発言 日 日銀及店長会議 (eコリボート) 公表	4 米 雇用統計	5 米 大統領予備選 (民：アラスカ州、ハワイ州、ノースダコタ州)	6
7 日 国際収支-貿易収支 日 国際収支-経常収支	8 日 消費者態度指数 新月 (ラマダン明け)	9 米 消費者物価指数 米 卸売在庫 米 FOMC議事録 韓 総選挙	10 中 消費者物価指数 中 生産者物価指数 米 ECB理事会 米 生産者物価指数	11 中 貿易収支 日 鉱工業生産 日 設備稼働率 独 消費者物価指数 米 ミシガン大学消費者信頼感指数	12 米 大統領予備選 (民：ワイオミング州)	13
14 日 機械受注 ユーロ圏鉱工業生産指数 米 NY連銀製造業景気指数 米 小売売上高 米 財務省 半期為替政策報告書提出期限 米 デリール・サンフランシスコ連銀総裁 IMF・世界銀行春季総会 (15～21日、ワシントンDC)	15 中 新築住宅価格 中 小売売上高 中 鉱工業生産指数 中 実質GDP 英 ILO失業率 独 ZEW景況感指数 米 住宅着工件数、建設許可件数 米 鉱工業生産指数、設備稼働率	16 英 消費者物価指数 英 生産者物価指数	17 米 フラデルフの連銀景況指数 米 中古住宅販売件数 G20財務大臣・中央銀行総裁会議	18 日 全国消費者物価指数 英 小売売上高 独 生産者物価指数 インド総選挙 (～6/1)	19 米 大統領予備選 (民：ワイオミング州)	20
21 米 大統領予備選 (民：アエドリック)	22 中 最優通貨金利 (1年、5年) 独 工英 製造業サービス業PMI 米 製造業サービス業総合PMI 米 新築住宅販売件数 米 大統領予備選 (民・共：ペンシルベニア州) 米 決算 テスラ、ロッキード・マーチン、ハルバートン、レイセオン テクノロジーズ。 過越数 (パスオーバー) ～29日 日 基調的なインフレ率を補正するための指標	23 独 Ifo景況感指数 米 耐久財受注 英 貿易収支 米 新築住宅販売件数 米 決算 テスラ、ロッキード・マーチン、ハルバートン、レイセオン テクノロジーズ。 過越数 (パスオーバー) ～29日 日 基調的なインフレ率を補正するための指標	24 米 実質GDP 米 個人消費 米 中古住宅販売件数 日 日銀金融政策決定会合 米 決算 ノースロップ・グラマン、マイクロソフト、ドットコム、インテル	25 米 PCEフルータ 米 ミシガン大学消費者信頼感指数 日 日銀金融政策決定会合 米 決算 エクソン・モービル	26	27
28 米 大統領予備選 (民：アエドリック)	29 日 祝日 (昭和の日) 独 消費者物価指数	30 日 完全失業率、有効求人倍率、鉱工業生産 中 製造業サービス業PMI 中 財新製造業PMI 独 実質GDP ユーロ圏GDP 米 雇用コスト指数、ケース・シャラー-20 米 消費者信頼感指数、シカゴ購買部協会PMI 米 FOMC (30～1日)	1 中 祝日 (労働節～5日) 日 新車販売台数 米 ADP雇用者数 米 ISM製造業景況感指数 米 JOLTS 米 FOMC結果公表 米 ハウエルFRB議長記者会見	2 日 日銀会合議事要旨 (3/18～19日) 米 貿易統計 アジア開発銀行総会 (～5日)	3 日 祝日 (憲法記念日) 日 失業率 米 雇用統計 米 ISM非製造業景況感指数	4

- ・ 25日に米GDP速報値 力強い伸びとなった第4四半期 (+3.4%) から緩やかに減速予想。
- ・ 26日は米PCE価格指数 前回コア前年比+2.8%と伸びが鈍化、21年3月以来の低水準。
- ・ 25-26日は日銀金融政策決定会合
- ・ 26日に東京都の消費者物価指数 前回コアCPIは、日銀目標を2カ月連続で上回った
- ・ FRBブラックアウト期間入り (金融政策に関する発言自粛)

前週レビュー・トピックス

～イスラエル報復攻撃～

NSトレーディング

菊川 弘之



【報復の連鎖も
拡大を望まず】

イランによるイスラエルへの報復攻撃は、イスラエル側に大規模な死傷者が出て対立が激化するのを避けるため、13日の攻撃の数日前に広い範囲で**イランは事前通告**を行っていたと、トルコ、ヨルダン、イラクの当局者が明らかにしている。

イラン中部のイスファハンで19日に起きた爆発について、アメリカメディアは、核施設の防空システムを狙ったものだったと報じた。

イランメディアによると、イラン中部のイスファハンにある空軍基地周辺に19日、3機の「小型無人機」が来たため、撃墜し、被害はなかったと報じた。

これに対し、アメリカのABCニュースはイスラエル軍が19日、イラン領の外から3発の「ミサイル」を発射し、イスファハン州にあるナタンズの核施設を防護する防空レーダー施設を破壊したと報じた。

4月13日～14日にかけてのイランによる大規模攻撃を受けたイスラエルが、報復措置を行った可能性が高い。

ABCニュースは、アメリカ政府高官の話として「イスラエルは事態を悪化させる意図はなく、攻撃能力をイランに示すことが目的だった」としている。一方、イランの政府高官はロイター通信に対し、外部から攻撃されたとの認識はなく、「イランがイスラエルに対して直ちに報復する計画はない」とコメント。

イランは報復の連鎖は望まない姿勢。**ネタニヤフ首相の行動が焦点。中東の地政学リスクの高まりは、米国覇権の揺らぎが根本的な理由。**

ドル円 (YEN)

～日米韓財務相会合で上値抑えられる～

NSトレーディング

菊川 弘之



【今週見通し・戦略】

ドル円は、3月のCPIが、市場予想を上回ったことを受けて、三角保合い上げとなり、154円台まで続伸。

155円水準に控えるノックアウト・オプションがヒットすれば一段高が想定されていた中、注目としたG20財務相・中央銀行総裁会議が、米首都ワシントンで開幕した。



これに伴い、日米韓財務相会合が17日、米ワシントンで開催された。「最近の**急速な円安・ウォン安への日韓の深刻な懸念を認識**し、外国為替市場の動向について引き続き緊密に協議する」と盛り込んだ共同声明をまとめた。

共同声明では為替相場を巡り「既存のG20のコミットメントに沿って協議する」と言及。G20は2021年4月の財務相・中央銀行総裁会議の声明で、「為替レートの過度な変動や無秩序な動きが、経済および金融の安定に悪影響を与える」と指摘した。

米財務省HP掲載分には、我々と言う主語を用いて、円安とウォン安の深刻な懸念を認識し、緊密な協議を謳っており**米国が協調行動を執ると表明**したことは大きい。

協調介入も

ファンダメンタルズ（4/1 1付「三角保合い上げ」参照）に逆らう日本の単独介入は効果が限定的と見られてきた中、変動が大きくなれば介入を認めるだけでなく**協調介入もあり得る**。ノックアウトオプションが集中する155円台を上抜け、上げ加速シナリオは残ったままだが、米国の認可の下、日韓協調介入の可能性はあるだろう。

25-26日の日銀金融政策決定会合では、金融政策の大きな変更はないとみられるが、今後の利上げや国債の買入れの減額などに関して、ヒントになるようなことがあれば材料視される可能性。

巻末に重要事項の記載があります。必ずご参照ください。

金 (GOLD)

~短期的な買われ過ぎ感による調整に注意~

NSトレーディング

菊川 弘之



【今週見通し・戦略】

先週レポートで「休場中の13日夜から14日にかけて、イランは、イスラエルに対して無人機などによる報復攻撃を実施した。周辺国を巻き込み中東全面戦争に広がる恐れが、金利高にも関わらず金が史上最高値を更新している一因だ。イランは「問題はこれで終わったものとする」とし、14日に国連安全保障理事会緊急会合・G7首脳電話協議が開催され、両国に自制



地政学リスクの高まり

を求める流れだが、イスラエルが報復攻撃をするか否かが焦点。報復の連鎖となれば金の上値余地は大きくなる。一方、報復の連鎖に陥らないようなら、ここ最近の短期的な買われ過ぎ感に対する調整も意識されるだろう」と指摘したが、19日にイスラエルがミサイル攻撃をし、イラン、シリア、イラクで同時爆発と伝えられた。

NY金(6月限)は、52週移動平均線との乖離率が拡大する中、4月12日に長い上ヒゲを形成し、目先の天井確認か？との見方もあったが、現段階では天井確認はできていない状況。一方、JPX金は、19日に上場来高値をザラ場で更新している。

単なる値頃感で新規売りすると踏まされる 相場格言の「買えない相場は強い(高い)」を地で行く展開が継続している。

インフレ警戒

ただし、イランもイスラエルも報告攻撃をしたものの、双方とも、事前告知して軍事目標限定だったことを考慮すると、あくまで国内向けの政治的メンツを立てることが重視されたものと考えられ、さらなる報復の連鎖は、当面の間、回避されるかもしれない。

報復攻撃がなければ、GW前中後に調整が入る可能性に注意。深押しすればするほど、中期的な良い買い場になるだろう。

白金(Platinum)

~心理低節目5000円が上値抵抗として機能~

NSトレーディング

菊川 弘之



【今週見通し・戦略】

ボリンジャーバンドで「白金-金」の鞘は、「金買い・白金売り」継続。%bのクロスと共に放れ、順張り型のバンドウォーク形成中。

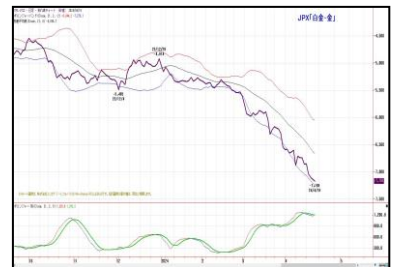
-2σ突破で利食いは良くても、逆張りは避けるべきパターンが継続している。

JPX白金相場は、連日の金相場の史上最高値更新に、遅ればせながら追随高となり、2023年6月以降続いている心理的節目4100円~4500円のレンジ上限を改めて上放れた。

ただ、長期の月足チャートでは、**心理的節目の5000円水準が、依然として上値抵抗**として機能して、株安もあり、調整入りとなっている。日足ベースでの、これまでの抵抗だった4500円が下値支持。

相対的割安感継続

リーマンショック(景気後退による需要減少)、フォルクスワーゲンショック(触媒不正実験をきっかけにディーゼル車からガソリン車へシフト)、電気自動車シフトの動きなどから、金に対して白金の割安傾向は継続している。ただし、今後もダブルスコア近辺まで**鞘が拡大すると、相対的な割安感も評価される**だろう。終値ベースで5000円を超えてくるまでは、基本戦略は、割安感が高まった際の逆張り買い。



欧州自動車工業協会(ACEA)によると、3月の欧州連合(EU26)の新車(乗用車)登録台数は前年同月比5.2%減の103万1875台となった。1~3月は前年同期比4.4%増の276万8639台となった。中国国家统计局が発表した1-3月期国内総生産(GDP)は、前年同期比5.3%増となり、2023年10-12月の5.2%増から加速。

ゴム(RSS3号)

~内外共にダブルトップを形成中~

NSトレーディング

菊川 弘之



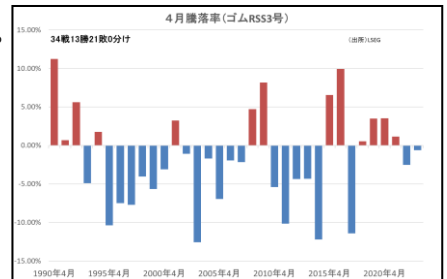
【今週見通し・戦略】

東京市場の価格リード役である上海ゴムは、2024年2月安値~3月高値までの上昇に対する半値押し水準でもち合いを継続している。原油高から一時的に天然ゴムが買われる場面があったものの、イラン・イスラエルの双方に自制を求める声も強く、上値試しは限定的となっている。



ソクラン明けは弱含み傾向

ソクラン(水祭り)明けタイの現物価格は、軟調な展開となっている。目先、節目の90パーツをしっかりと割り込めば、天候不順や中国の需要回復期待などを背景にした今年1月中旬から続いた上昇トレンドが終了するとの思惑も出やすい。**4月のJ P Xゴムの月間騰落率は、弱気優勢の時間帯。**季節的には減産期明けは売り優勢となりやすい。



J P Xゴムもダブルトップ形成で、戻り売り圧力が強いチャート形状。

2023年12月安値~2024年3月高値までの上昇に対する半値押しは298.3円、61.8%押しは282.7円。

16日に中国国家统计局が発表した1-3月期国内総生産(GDP)は、前年同期比5.3%増となり、2023年10-12月の5.2%増から加速した。一方、3月の鉱工業生産は、前年比4.5%増となったものの、1-2月の7.0%増からは鈍化、また3月の小売売上高は3.1%増と1-2月は5.5%増から減速している。

全国生ゴム営業倉庫在庫は、3月31日時点12,647トン(前旬比1,064トン増)。3月下旬の入出庫は入庫1,866トン、出庫802トン。

巻末に重要事項の記載があります。必ずご参照ください。

穀物(大豆・コーン)

~ラニーニャ現象へ転じるか否かが注目~

NSトレーディング

菊川 弘之



【今週見通し・戦略】

シカゴ大豆は、今春の**作付意向面積や3月1日時点の四半期在庫報告が共に前年および事前予想を上回った**ことが明らかになって以降、軟調が続いている。米産地での作付は初期段階ながら、西部の土壌水分の乾燥も降雨で回復に向かうと見られており、本格的な作付開始を控えるなかで作付環境の改善が見込まれている。更に、ドルが高止まりしているため米国の輸出が引き続き低迷するなど、需要面も弱さが目立つ。2月に付けた1番底の攻防戦。

シカゴコーンは、なべ底形成の動き。14日現在の作付け進捗率は、6%となり、昨年同期の7%を1%下回っているが、平年の5%を上回っており、順調に作付け作業が始まった格好。

基本戦略は買い場探し。**天候相場入り前の一番底は、それぞれ確認**しており、戻りを売られながら、底固めしていく。両銘柄ともに大口投機玉の売り越し状態は継続しており、米国の天候相場に向けて、踏み上げの火種になるリスクは高い。

投機玉の売り越しは火種

現在のエルニーニョ現象が**ラニーニャ現象へ転じると、一気に天候懸念が材料視**される。

巻末に重要事項の記載があります。必ずご参照ください。

原油(OIL)

~イスラエルの報復の有無が焦点~

NSトレーディング

菊川 弘之



【今週見通し・戦略】

NY原油(5月限)は、中東の地政学リスクの高まりを受けて、12日に87ドル台の高値を付けたが、イスラエルがイランに再報復の攻撃をすることへの警戒は根強いものの、目立った動きがないため、持ち高調整の売りが出やすい中、**利益確定の売りが優勢**となった。

イラン報復を実施

更に、米エネルギー情報局(EIA)週間在庫統計で、原油在庫が市場予想以上に増加した。ガソリンなど石油製品の在庫が減った一方、製油所の稼働率が伸び悩んでいる。原油や石油製品の在庫が合計で12億3752万2000バレルまで増加し、年初から取り崩された原油在庫が上向いていることも重しとなった。米製油所稼働率は88.1%まで低下し、3月後半から伸び悩んでいる。

世界最大の石油消費国である米国の景気見通しが不透明であることも重し。米経済指標は堅調でインフレ率の加速が危惧されるなか、**年内の米利下げ観測は後退**している。

前週末にはイスラエルによるイランへの報復空爆で、中東からの原油供給に悪影響が出るとの見方から買いが優勢となる場面もあったが、イスラエルの攻撃が限定的になるとの見方もあり、上値が抑えられた。

目先イスラエルとイランの交戦状態が、**報復合戦となるのか、それとも沈静化するのかが焦点**。ヘッドライン次第で乱高下することも十分にあり得るので注意したい。

報復の連鎖で、世界の原油の約20%(日量約2000万バレル)が通過するホルムズ海峡閉鎖で供給がストップするのが最悪のシナリオだが、今のところ**攻撃内容やイランの反応は抑制的**。

イスラエルとイランによる直接的な攻撃の応酬リスクが低下すれば、イスラエルはイスラム組織ハマスとの衝突を続けるガザ情勢への対応に注力する可能性。その場合、ガザ最南部ラファへの地上侵攻が実施されると、偶発的な衝突に伴う攻撃の応酬につながる可能性は残る。

日経225 (NIKKEI225)

～ネックライン割れで、ダブルトップ完成～

NSトレーディング

菊川 弘之



【今週見通し・戦略】

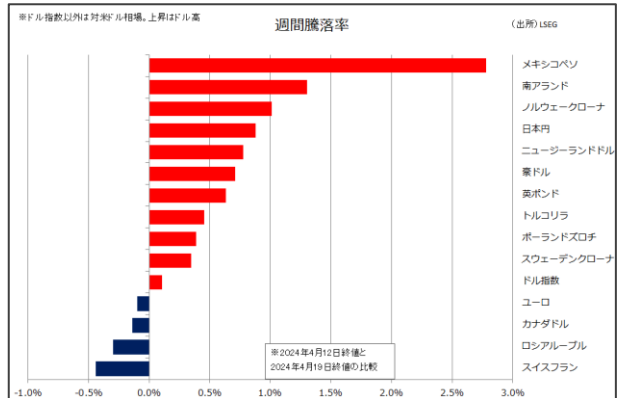
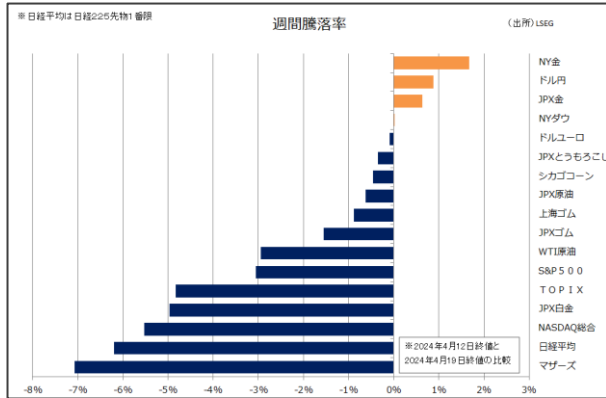
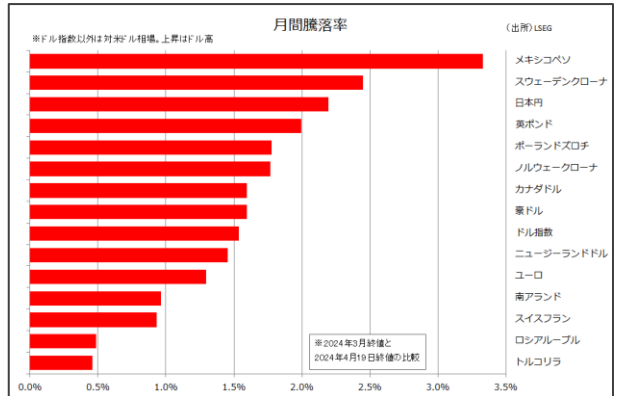
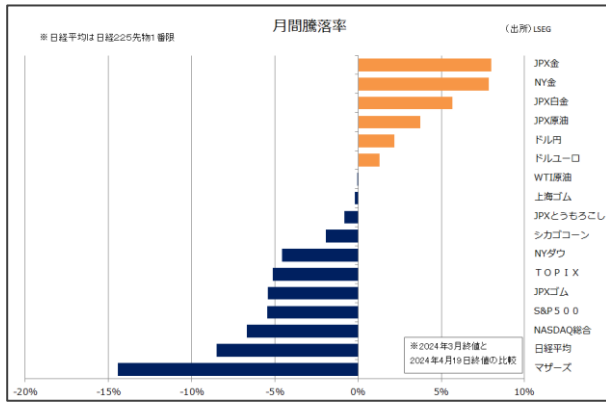
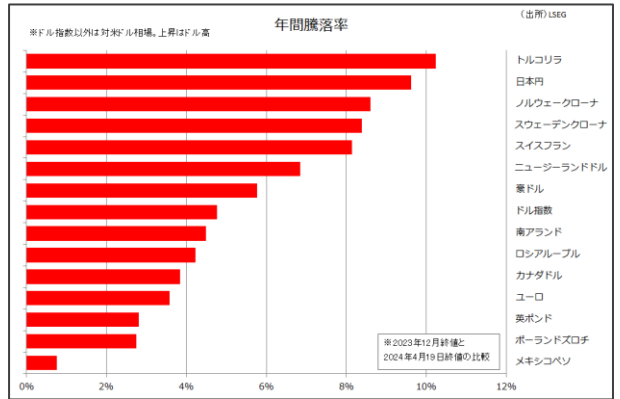
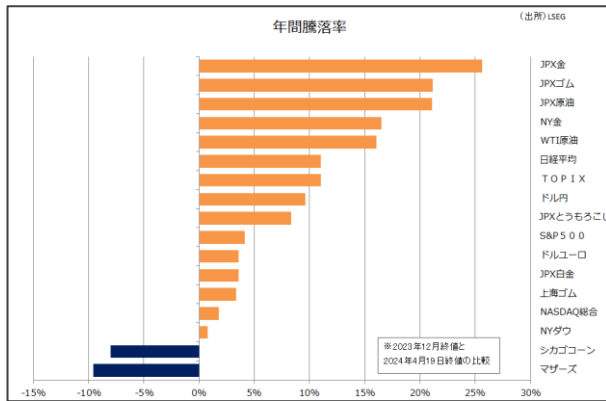
米CPIショックからの利下げ観測の後退もあり、NYダウはダブルトップ完成。一時、ネックラインを回復も、戻りを売られて「リターンムーブからの反落パターン」となり、下げ加速。ダブルトップからの下値目標値の38,685.79ドル～38,665.33ドルを達成。2023年12月5日安値～2024年3月21日高値までの上昇に対する半値押し水準でもち合っている。61.8%押しは37492ドル。200日移動平均線は、36214ドル水準。

一方の日経225は、RSIの逆行現象に追随して下落。**ネックライン(3/12安値)を割り込みダブルトップ完成**。下げ加速となった。N=38630円、E=35780円、V=35210円などが下値目標としてカウント可能。

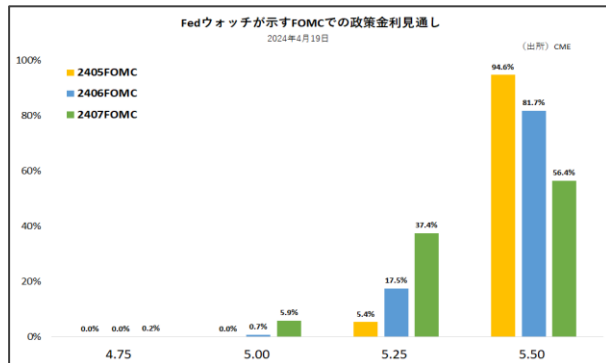
ブラックアウト期間

FRBブラックアウト期間入り(金融政策に関する発言自粛)もあり、中東の地政学リスクが一服するか否かが焦点。落ち着きを見せてくると、テスラ等の決算を受けたナスダックや、155円の攻防絡みでの為替市場に影響を受けそう。

【騰落率(年間・月間・週間)】



【先物市場が政策金利】



【中国GDP】

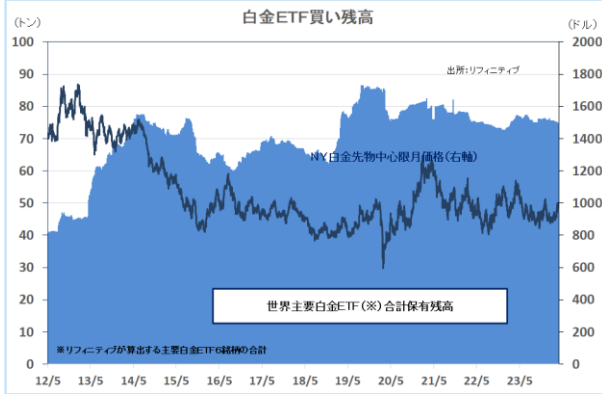


巻末に重要事項の記載があります。必ずご参照ください。

【金・白金ETF】

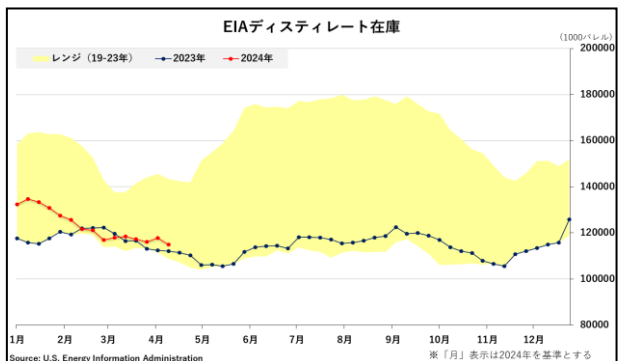
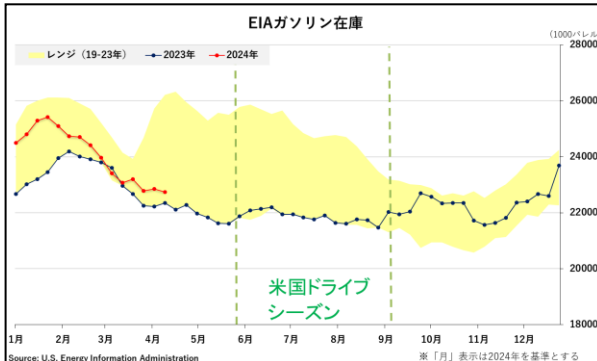
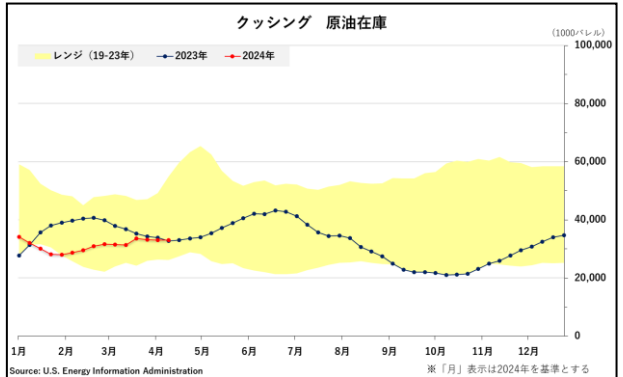
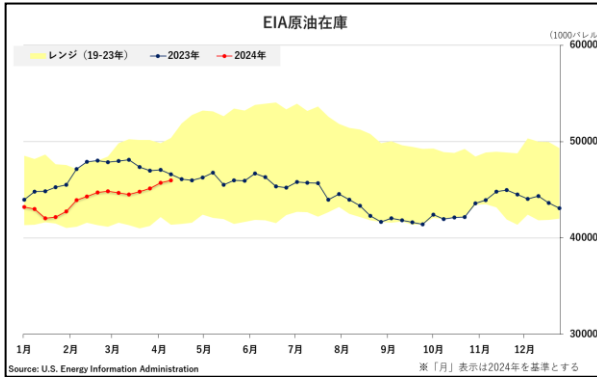


日付	金保有高(トン)	前営業日比
2024/4/19	831.91	+4.32
2024/4/18	827.59	±0
2024/4/17	827.59	-2.59
2024/4/16	830.18	+1.73
2024/4/15	828.45	+1.73
2024/4/12	826.72	-4.03
2024/4/11	830.75	+2.30



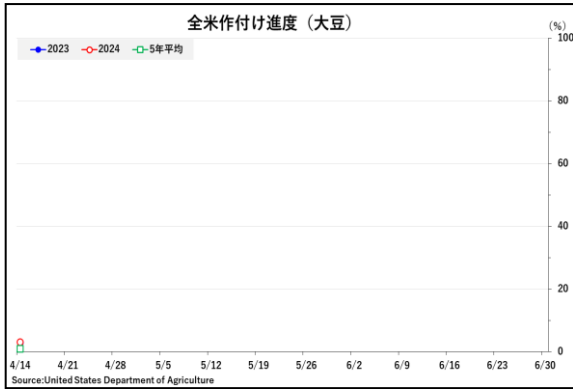
日付	白金保有高(キログラム)	前営業日比
2024/4/19	74,663.49	-0.12
2024/4/18	74,663.61	-31.35
2024/4/17	74,694.96	+0.37
2024/4/16	74,694.59	-178.19
2024/4/15	74,872.78	+29.67
2024/4/12	74,843.11	-0.12
2024/4/11	74,843.23	+4.85

【EIA在庫】

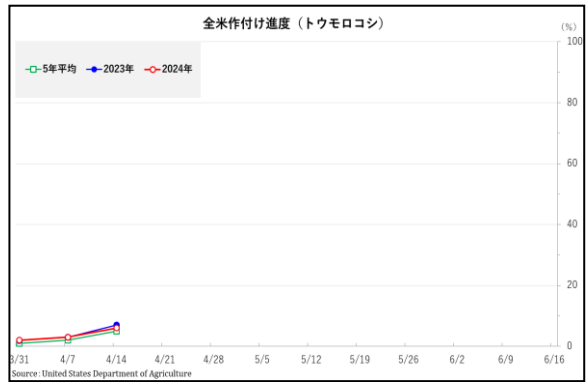


巻末に重要事項の記載があります。必ずご参照ください。

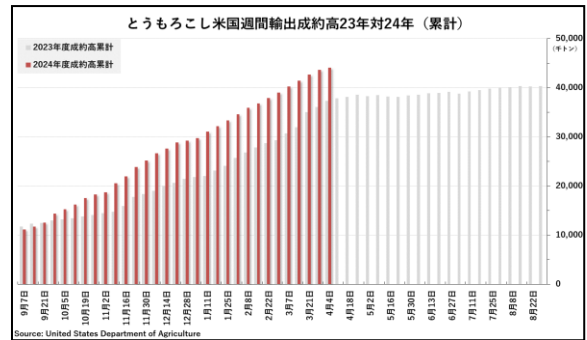
【米大豆作付け進捗】



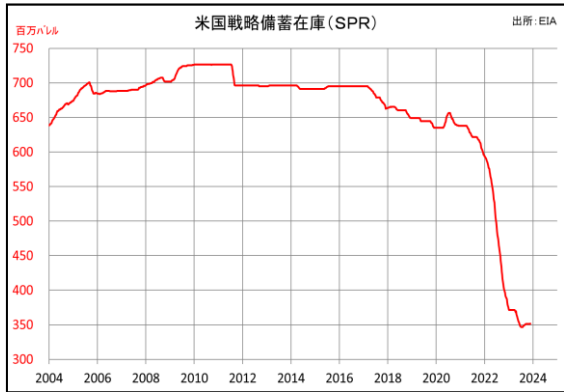
【米コーン作付け進捗】



【週間輸出成約高(大豆・コーン)】



【米戦略備蓄】



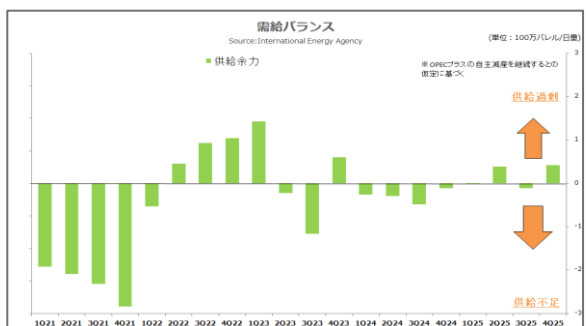
【米生産高&リグ稼働数】



【OPEC&米国原油生産】

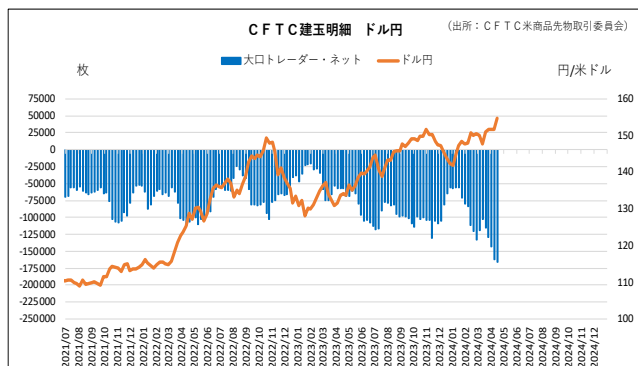


【IEA見通し】

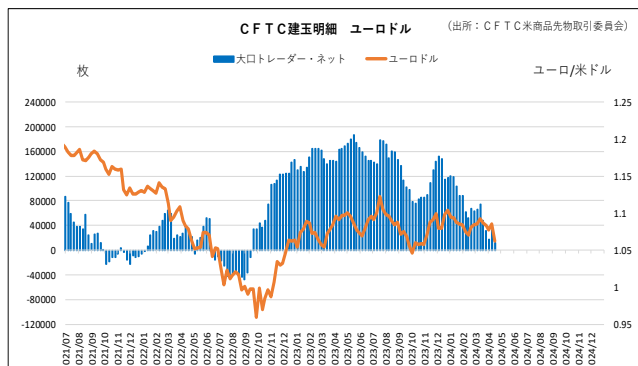


巻末に重要事項の記載があります。必ずご参照ください。

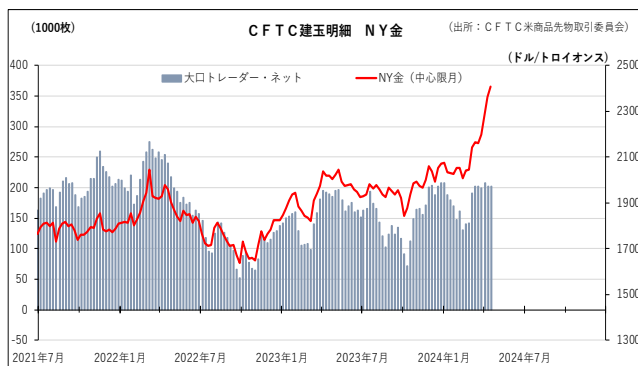
【CFTC建玉明細】



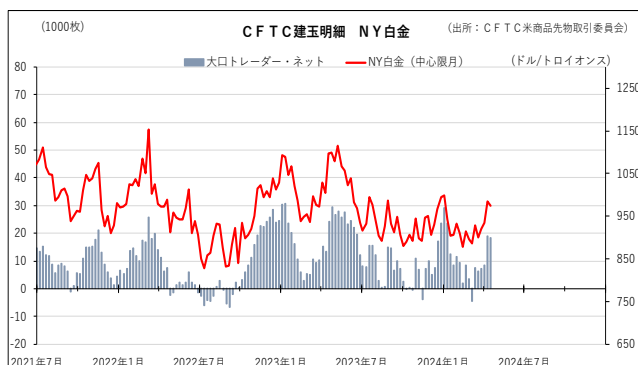
ドル円				
日付	大口投機玉			終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2024/3/19	66,274	182,286	-116,012	150.85
2024/3/26	59,969	189,075	-129,106	151.55
2024/4/2	55,190	198,420	-143,230	151.55
2024/4/9	47,275	209,426	-162,151	151.77
2024/4/16	49,463	215,082	-165,619	154.71
前週比	2,188	5,656	-3,468	2.94



ユーロドル				
日付	大口投機玉			終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2024/3/19	182,382	134,040	48,342	1.0865
2024/3/26	180,193	148,999	31,194	1.0830
2024/4/2	188,258	171,464	16,794	1.0768
2024/4/9	175,419	142,696	32,723	1.0855
2024/4/16	178,912	166,688	12,224	1.0617
前週比	3,493	23,992	-20,499	-0.0238



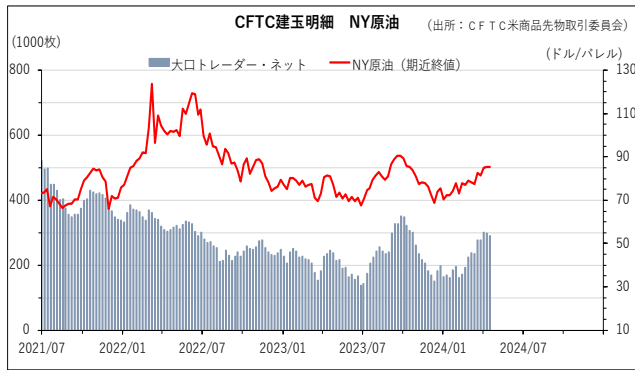
NY金				
日付	大口投機玉			中心限月 終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2024/3/19	278,732	77,130	201,602	2159.7
2024/3/26	265,647	66,353	199,294	2199.2
2024/4/2	281,399	74,149	207,250	2281.8
2024/4/9	279,799	77,380	202,419	2362.4
2024/4/16	278,777	76,854	201,923	2407.8
前週比	-1,022	-526	-496	45.4



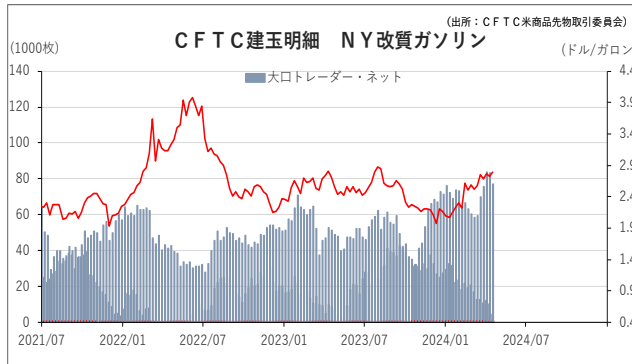
NY白金				
日付	大口投機玉			中心限月 終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2024/3/19	42,540	36,260	6,280	901.1
2024/3/26	43,006	35,811	7,195	920.7
2024/4/2	45,845	37,256	8,589	934.3
2024/4/9	51,330	32,323	19,007	984.1
2024/4/16	52,430	34,189	18,241	975.2
前週比	1,100	1,866	-766	-8.9

巻末に重要事項の記載があります。必ずご参照ください。

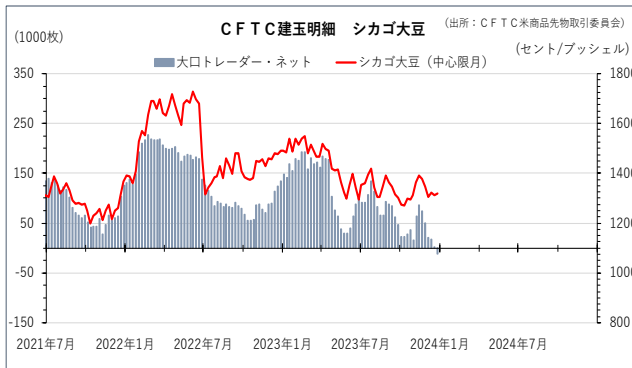
【CFTC建玉明細】



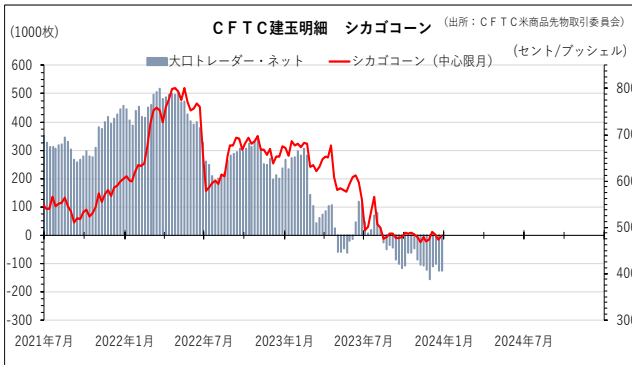
NY原油				
日付	大口投機玉			期近終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2024/3/19	366,016	88,259	277,757	82.73
2024/3/26	376,903	98,876	278,027	81.62
2024/4/2	392,328	91,431	300,897	85.15
2024/4/9	403,797	106,660	297,137	85.23
2024/4/16	411,987	121,525	290,462	85.36
前週比	8,190	14,865	-6,675	0.13



NY改質ガソリン				
日付	大口投機玉			期近終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2024/3/19	107,074	37,066	70,008	2.7489
2024/3/26	112,724	36,995	75,729	2.6853
2024/4/2	115,963	32,240	83,723	2.7589
2024/4/9	122,553	39,206	83,347	2.7302
2024/4/16	121,169	43,959	77,210	2.7911
前週比	-1,384	4,753	-6,137	0.0609



シカゴ大豆				
日付	大口投機玉			中心限月 終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2024/3/19	97,583	265,236	-167,653	1185.50
2024/3/26	98,488	252,202	-153,714	1199.00
2024/4/2	95,389	253,429	-158,040	1174.00
2024/4/9	90,965	249,442	-158,477	1174.50
2024/4/16	94,418	266,311	-171,893	1145.00
前週比	3,453	16,869	-13,416	-29.50



シカゴコーン				
日付	大口投機玉			中心限月 終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2024/3/19	294,129	469,642	-175,513	439.50
2024/3/26	293,932	471,953	-178,021	432.50
2024/4/2	294,298	475,634	-181,336	426.50
2024/4/9	278,917	469,108	-190,191	431.25
2024/4/16	278,571	483,428	-204,857	431.00
前週比	-346	14,320	-14,666	-0.25

巻末に重要事項の記載があります。必ずご参照ください。

重要な注意事項

【本資料について】 本資料は、日産証券株式会社（以下、「当社」といいます。）とNSトレーディング株式会社との契約に基づき、当社がNSトレーディング株式会社に作成を依頼したものです。当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。

【当社およびNSトレーディング株式会社の免責事項】 本資料は情報提供を目的としており、内容は正確性、完全性に万全を期してはおりますが、これを保証するものではありません。また、本資料により生じた、いかなる損失・損害についても責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

【留意事項】 当社が取り扱っている金融商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等により損失を生じる恐れがあります。商品は取引によっては、投資元本を超える損失が発生することがあります。各商品等ごとに手数料等及びリスクは異なりますので、各商品等へのご投資にかかる手数料等及びリスクについては、当該金融商品等の取引概要やリスク説明等、契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をよくお読みください。

【利益相反情報について】 当社の役職員は、本資料に記載された証券についてポジションを保有している場合があります。また、当社は、本資料に記載された証券、同証券に基づくポジション、先物その他の金融派生商品について、買い又は売りのポジションを有している場合があります。自己勘定で売買を行うことがあります。当社の役員（会社法に規定する取締役、執行役、監査役又はこれらに準ずる者をいう。）が、以下の会社の役員を兼任しています。

・日産証券グループ株式会社

NSトレーディング株式会社およびその役職員は、本資料に記載された証券についてポジションを保有している場合があります。また、NSトレーディング株式会社およびその役職員は、本資料に記載された証券、同証券に基づくポジション、先物その他の金融派生商品について、買い又は売りのポジションを有している場合があります。自己勘定で売買を行うことがあります。

【著作権について】 本資料の著作権はNSトレーディング株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

【商号等】 日産証券株式会社

金融商品取引業者【関東財務局長（金商）第131号】商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会